



# 芦安中学校

## 平成23年度 前期自己評価書



### 【 も く じ 】

- 芦安中学校経営・・・・・・・・・・p. 1－ 3
- 教職員アンケート状況・・・・・・・・p. 4－10
- 生徒アンケート状況・・・・・・・・p.11－16
- 自己評価書・・・・・・・・・・p.17－18

## 1 学校教育目標

---

### 《基本目標》

## 《主体的で実践力のある芦中生の育成》

### 《具体目標》

#### 【生徒像】

- (1) 意欲的に学習に取り組み、最後までやり抜く生徒
- (2) 正しく判断し、自主的に行動できる生徒
- (3) 美しいものを求め、情操豊かな生徒
- (4) 人を思いやり、尊敬するとともに協力性に富む生徒
- (5) 郷土を愛し、自然に親しむとともに勤労を尊ぶ生徒

#### 【学校像】

- (1) 楽しい学校
- (2) 活力ある学校
- (3) 美しい学校

## 2 めざす教師像

---

- (1) 温かさときびしさをもって指導にあたり、自己研修に励む教師
- (2) 子どもと共に学び、子どもと共に伸びようと努める教師
- (3) 常に相互信頼と和を築こうとする教師

## 3 学校経営の方針

---

確かな学力・豊かな人間性・健康体力という「知」「徳」「体」のバランスの取れた教育課程の編成と実施に努め、生徒それぞれの個性や能力を生かして、主体的に生きる力を育てていく。

- (1) 知・徳・体のバランスのとれた教育活動を推進する。
- (2) 小規模校のよさを生かした特色ある学校づくりに努める。
  - ① 少人数を生かし、個に応じたていねいな指導に努め、基礎学力の向上を図る。
  - ② 生徒会活動を大切にし、少人数ならではの自立心や責任感、思いやりの心や奉仕の心を育てる。
  - ③ 全生徒について全教職員で共通理解を図りながら、生徒指導にあたる。
- (3) 全校登山など体験的な活動や読書活動、表現活動等の充実を図り、豊かな心や感性、たくましい体の育成に努める。
- (4) 学校生活全体を通して道徳教育の推進に努め、道徳的実践力を育てる。
- (5) 地域を学び、郷土愛や自然保護の心を育てる。
- (6) 情報発信に努め、家庭・地域・小学校・チロル学園との連携を深め、開かれた学校・信頼される学校づくりを推進する。
- (7) キャリア教育、食育、環境教育の計画的な推進に努める。

## 4 学校経営の努力点

生徒の主体性を育むためにも、人間的ふれあいを基盤としながら、自己決定の場や自己存在感が得られるように配慮して、「生きる力」を伸ばしていく。

### (1) 学習指導の向上

- 少人数を生かし、個に応じた継続的な指導により、生徒一人ひとりの基礎学力の向上を図る。（授業、家庭学習）
- 教材研究に努め、体験的活動や学び合い活動、課題解決的学習の推進により、学習への意欲化や学習内容の理解、表現力等の向上を図る。
- 継続的な指導により、学習規律の定着を図る。
- 学習の手引きや個別指導を行い、家庭と連携した家庭学習の指導をする。
- 「まなびの時」や放課後学習会、長期休業中の学習会を実施し、補充的な学習を充実させる。

### (2) 心の教育の充実

- 心のふれあいに努め、安心感・自己有用感を得られる学校・学級づくりを推進する。
- 体験的活動や読書活動の推進、合唱・太鼓等表現活動の充実による豊かな心や感性の育成を図る。
- 道徳の時間の充実と学校教育全体での指導を連携させて、道徳的実践力を育てる。
- スクールカウンセラーとの連携やQ-Uを活用して、生徒理解を深める。
- 生徒一人ひとりについての共通理解と職員全員指導による望ましい生活態度の育成に努める。
- 生徒会活動を大切にし、少人数ならではの自立心や責任感、思いやりの心や奉仕の心を育てる。
- 部活動の推進により、生徒の意欲や精神的な強さの向上を図る。

### (3) 健康・体力の育成

- 体育や部活動の充実によるバランスのとれた体力の向上に努める。
- 自分で健康安全に気をつける力の育成を図る。
- 地域や関係機関の協力を得ながら、安全対策に配慮した登山や強歩大会の推進と体力向上に努める。
- 食育を計画的に推進していく。
- 家庭と連携して望ましい生活習慣の育成を図る。

### (4) 地域を学び、郷土愛や自然保護の心を育てる。

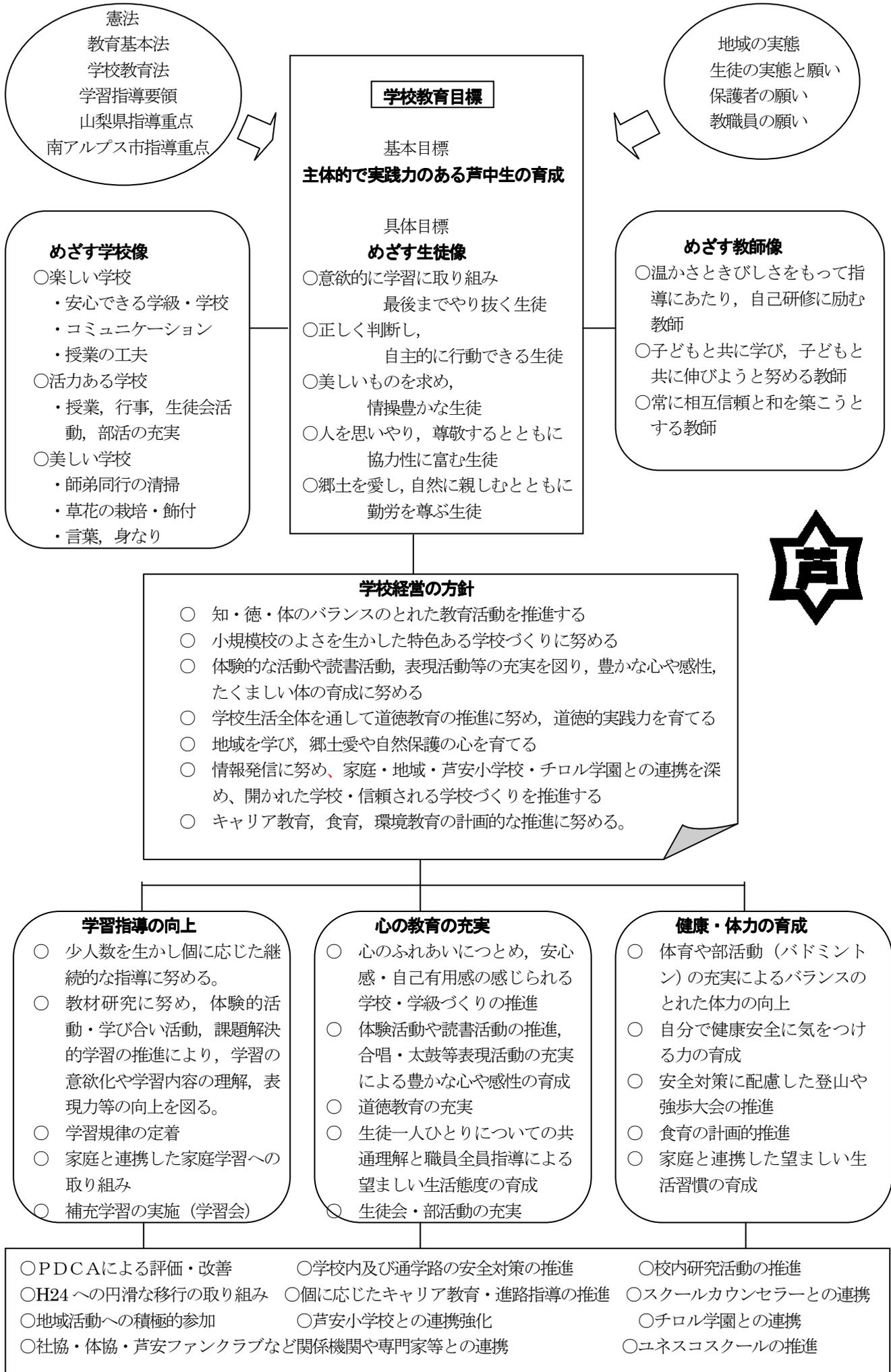
- 全校登山、自然パトロールを中心に、高山や地域についての学習を深める。
- 日常の学習の中で地域の教材化や地域の人材の活用を積極的に行う。
- 持続可能な環境教育の推進に努める（ユネスコスクールの推進）

### (5) 情報発信に努め、家庭・地域・芦安小学校・チロル学園との連携を深め、開かれた学校・信頼される学校づくりを推進する。

- 学校・学年通信、図書・保健だより、ホームページ、ノート、電話などいろいろな手段で情報発信に努め、学校の様子の理解を図る。
- 地域活動へ積極的に参加する（新緑やまぶき祭り等）
- 芦安小学校との円滑な接続をめざして、小学校との連携をさらに深める。
- 芦安小中チロルでの情報交換と連携推進

### (6) その他

- PDCAによる評価・改善の推進（学校関係者評価委員会 他）
- 学校内及び通学路の安全対策の推進 ○H24への円滑な移行の推進
- 校内研究活動の推進 ○個に応じたキャリア教育、進路指導の推進
- 学校行事、生徒会行事の早期からの計画的な推進
- 市教委・学校応援団・芦安窓口サービスセンター・行政区・社協・体協・警察・消防・安協・芦安ファンクラブ・老人クラブ・南ア自然保護官事務所など地域や関係機関・専門家等との連携



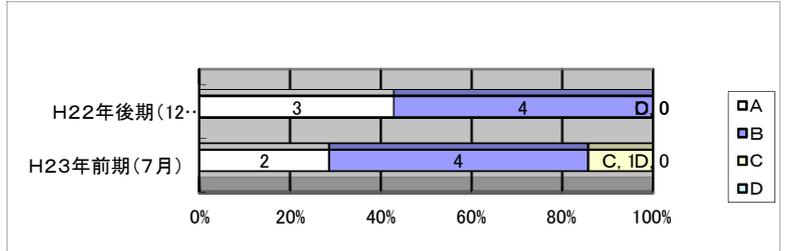
平成23年度 前期 芦安中学校学校評価アンケート（教職員） ※8名集計結果

I 学校教育目標

A そう思う	B だいたい そう思う	C あまりそう 思わない	D そう 思わない
-----------	-------------------	--------------------	-----------------

1 あなたは、学校教育目標を学年経営に活かしている

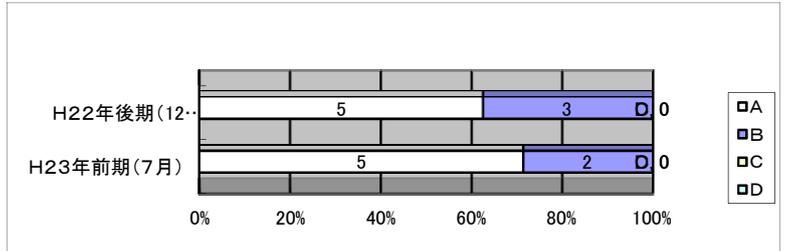
		A	B	C	D
1	H22年後期(12月)	3	4	0	0
	H23年前期(7月)	2	4	1	0



あなたは、本校の具体目標を重視した教育活動を行っている（2～6）

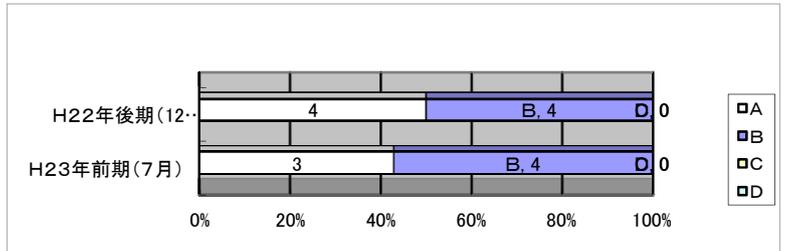
2 意欲的に学習に取り組み、最後までやり抜く生徒

		A	B	C	D
2	H22年後期(12月)	5	3	0	0
	H23年前期(7月)	5	2	0	0



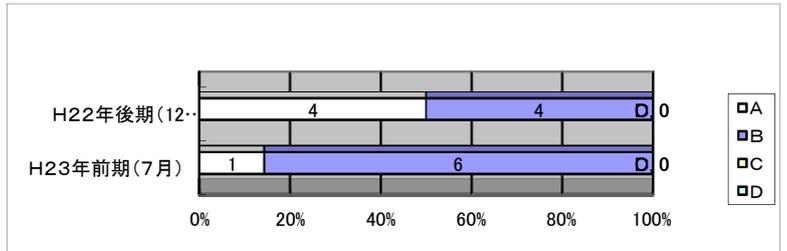
3 正しく判断し、自主的に行動できる生徒

		A	B	C	D
3	H22年後期(12月)	4	4	0	0
	H23年前期(7月)	3	4	0	0



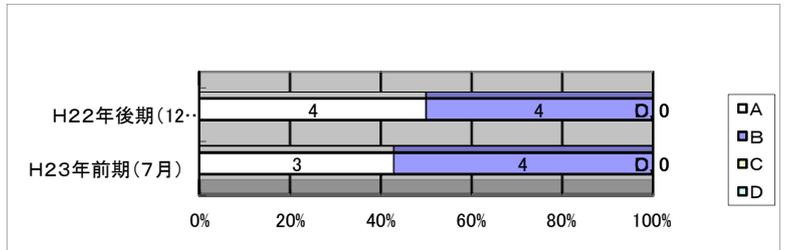
4 美しいものを求め、情操豊かな生徒

		A	B	C	D
4	H22年後期(12月)	4	4	0	0
	H23年前期(7月)	1	6	0	0



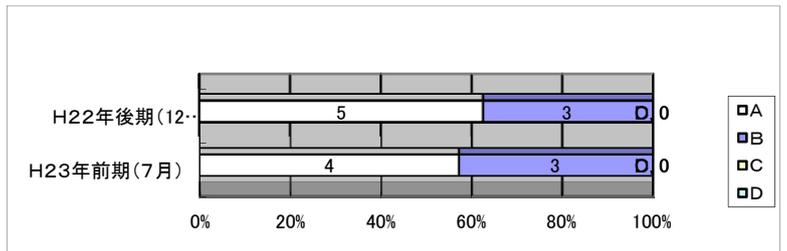
5 人を思いやり、尊敬するとともに協力性に富む生徒

		A	B	C	D
5	H22年後期(12月)	4	4	0	0
	H23年前期(7月)	3	4	0	0



6 郷土を愛し、自然と親しむとともに勤労を尊ぶ生徒

		A	B	C	D
6	H22年後期(12月)	5	3	0	0
	H23年前期(7月)	4	3	0	0



〔自由記述欄〕

・具体目標を重視した教育活動を行っているが、2の意欲的に学習に取り組み、最後までやり抜く生徒、3の正しく判断し、自主的に行動できる生徒、5の人を思いやり、尊敬するとともに協力性に富む生徒の育成については、今後さらに取り組みを行う必要がある。

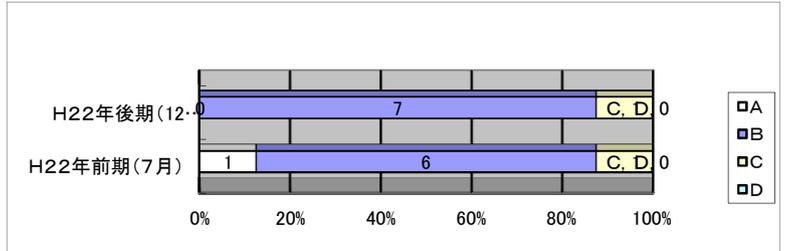
【まとめ】

・昨年度(後期)とおおよそ同様の傾向にある。

II 学校経営・組織

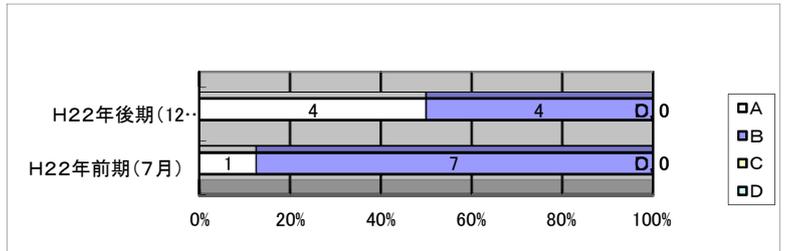
7 本校では、**校務分掌**が適切に機能している

		A	B	C	D
7	H22年後期(12月)	0	7	1	0
	H22年前期(7月)	1	6	1	0



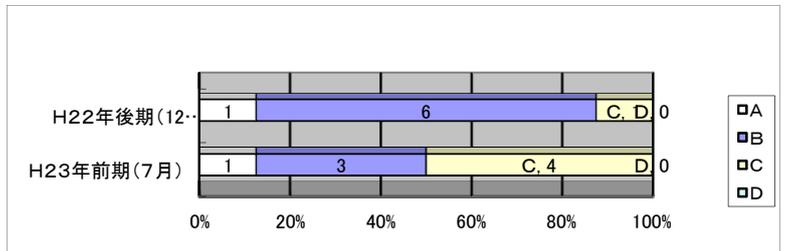
8 本校では、**職員会議**が学校運営上、適切に運営されている

		A	B	C	D
8	H22年後期(12月)	4	4	0	0
	H22年前期(7月)	1	7	0	0



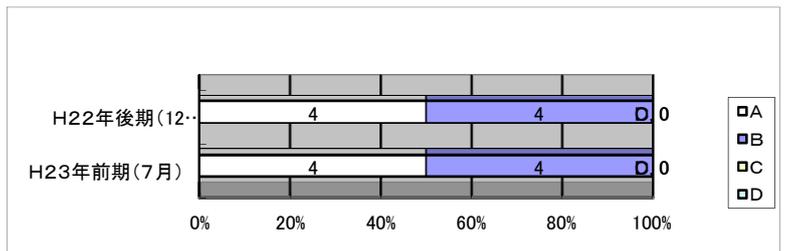
9 本校では、**校内研究**が日々の授業に活かされている

		A	B	C	D
9	H22年後期(12月)	1	6	1	0
	H23年前期(7月)	1	3	4	0



10 あなたは、「**報告・連絡・相談**」を行い相互理解に努めている

		A	B	C	D
10	H22年後期(12月)	4	4	0	0
	H23年前期(7月)	4	4	0	0



〔自由記述欄〕

・生徒の学力の実態と「学び合い」を結びつけることが難しい。(どうしてもドリル的な学習が中心となってしまう。)  
 ・学力を向上させるために、今の生徒の実態に合った学びが必要。  
 ・人数が少ないので、分掌が決まっても、一人に任せるのではなく、みんなで協力してやっていくようにしたい。

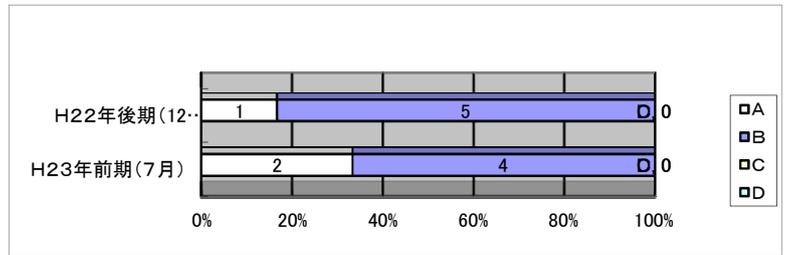
【まとめ】

・責任持って仕事を遂行すること。そのために職員協働による企画・運営を大切にしていける必要がある。  
 ・子どもたちの実態とリンクさせながら、学び合いを高める一人一実践の授業に取り組んでいく。

### Ⅲ 学習指導

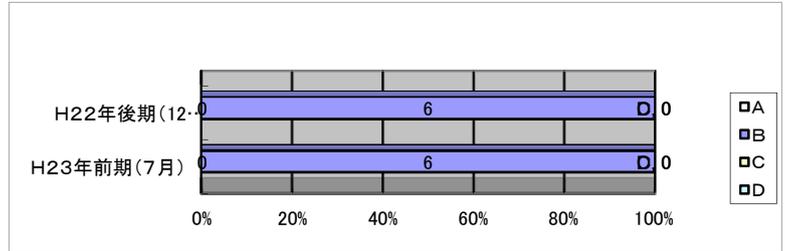
11 あなたは、担当する教科・領域について、**進度**が適当であった

		A	B	C	D
11	H22年後期(12月)	1	5	0	0
	H23年前期(7月)	2	4	0	0



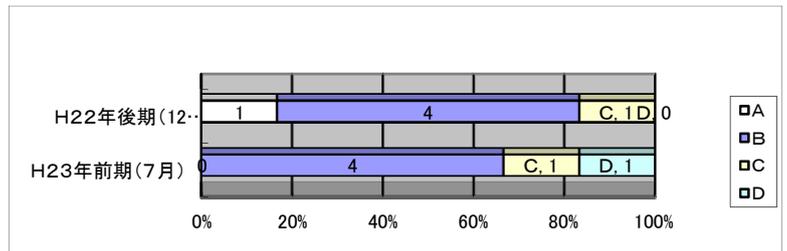
12 あなたは、生徒の**関心意欲**を高める授業をすすめている

		A	B	C	D
12	H22年後期(12月)	0	6	0	0
	H23年前期(7月)	0	6	0	0



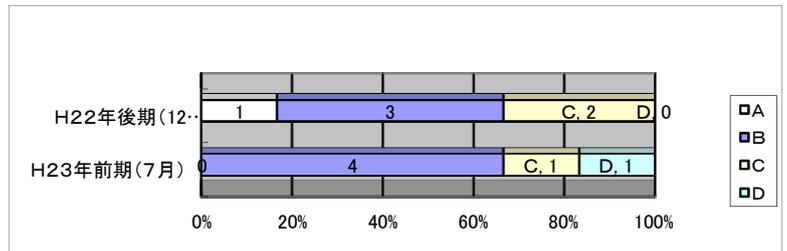
13 あなたは、生徒が主体的に学ぶ**課題解決的な学習**を行っている

		A	B	C	D
13	H22年後期(12月)	1	4	1	0
	H23年前期(7月)	0	4	1	1



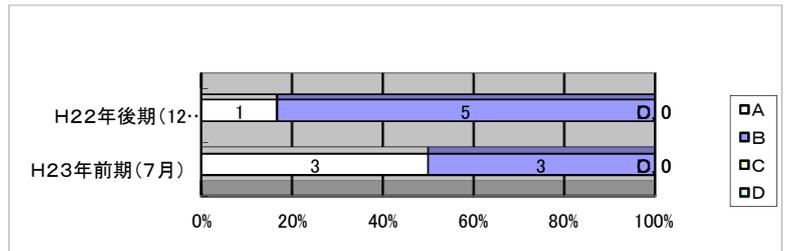
14 あなたは、生徒が**学び合う授業**を展開している

		A	B	C	D
14	H22年後期(12月)	1	3	2	0
	H23年前期(7月)	0	4	1	1



15 あなたは、**個に配慮した授業**をすすめている

		A	B	C	D
15	H22年後期(12月)	1	5	0	0
	H23年前期(7月)	3	3	0	0



#### [自由記述欄]

・生徒の学力(個々の)が課題解決的な学習や学び合う学習を行うには、十分とは言えない。ドリル的な学習により基礎学力をつけるさせたい。

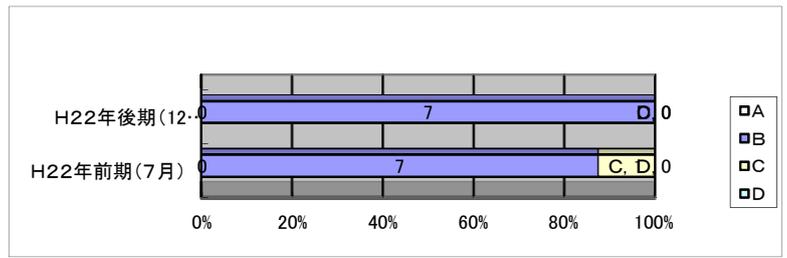
#### 【まとめ】

- ・教授型の授業になってしまう傾向があり、「関心意欲を高める授業」「主体的に学ぶ課題解決型の授業」「学び合う授業」に課題がある。
- ・生徒の実態を考えると、基礎学力の向上の取り組みが必要である。
- ・個に応じた授業についての意識は高い。

#### IV 生徒指導

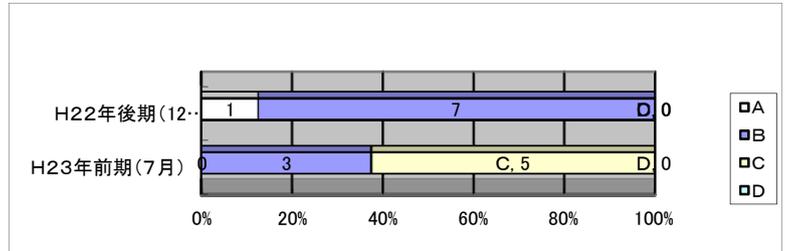
16 生徒は、明るく楽しい学校生活を送っている

		A	B	C	D
16	H22年後期(12月)	0	7	0	0
	H22年前期(7月)	0	7	1	0



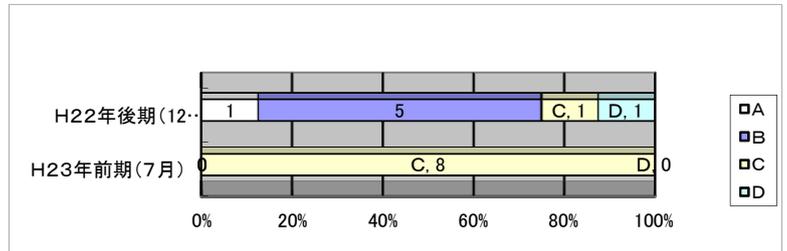
17 生徒は、気持ちよいあいさつができています

		A	B	C	D
17	H22年後期(12月)	1	7	0	0
	H23年前期(7月)	0	3	5	0



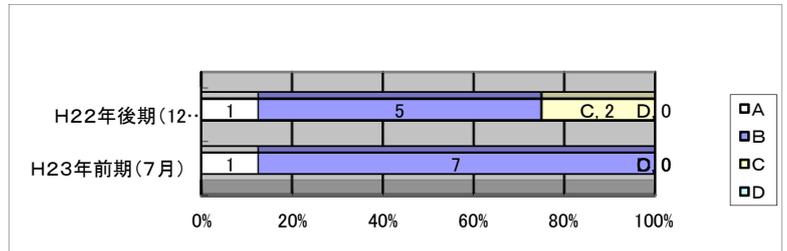
18 生徒は、適切な言葉づかいで学校生活を送っている

		A	B	C	D
18	H22年後期(12月)	1	5	1	1
	H23年前期(7月)	0	0	8	0



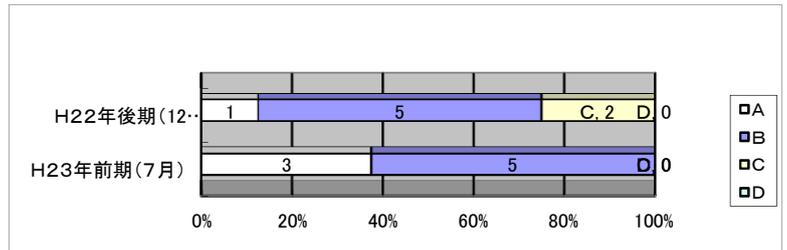
19 生徒は、自分の気持ちや意見をはっきり言える

		A	B	C	D
19	H22年後期(12月)	1	5	2	0
	H23年前期(7月)	1	7	0	0



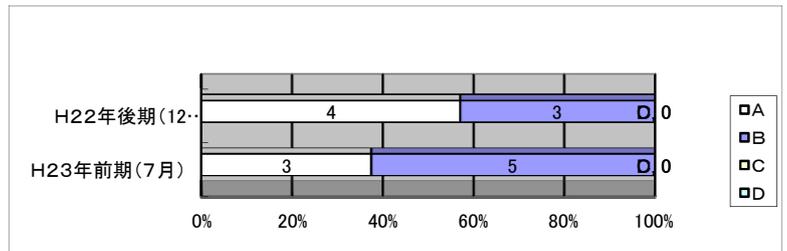
20 あなたは、授業や生活で生徒の声を受け止めている

		A	B	C	D
20	H22年後期(12月)	1	5	2	0
	H23年前期(7月)	3	5	0	0



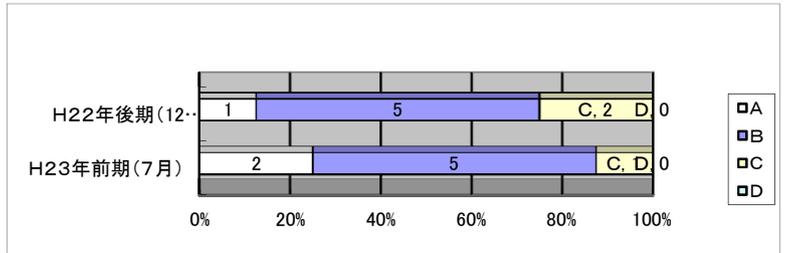
21 あなたは、生徒の相談や悩みに誠意を持って対応している

		A	B	C	D
21	H22年後期(12月)	4	3	0	0
	H23年前期(7月)	3	5	0	0



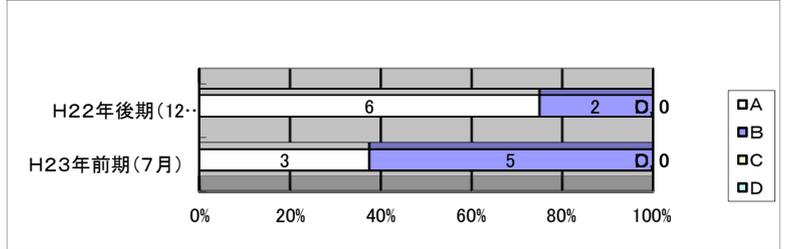
22 本校は、生徒指導の充実のために組織的な対応ができた

		A	B	C	D
22	H22年後期(12月)	1	5	2	0
	H23年前期(7月)	2	5	1	0



23 本校は、スクールカウンセラーを有効に活用している

		A	B	C	D
23	H22年後期(12月)	6	2	0	0
	H23年前期(7月)	3	5	0	0



〔自由記述欄〕

- ・生徒の言葉遣いの悪さ、色々なことへの意欲の低下が気になる。
- ・上級生には、ぜひ生徒の手本となるような言動をしてほしい。
- ・全校登山後の数日間だけを見ても、全校登山前に比べて生徒は楽しく生活できているように感じる。全校登山をきっかけに生徒たちは絆を深めて大きなものを得てきたように感じる。
- ・スクールカウンセラーには、よく関わっていただき、今後も引き続きお願いしたい。

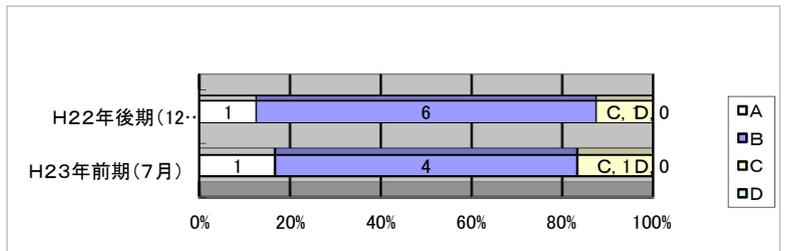
【まとめ】

- ・(17)の気持ちのよいあいさつ、(18)生徒の言葉づかいの状況について課題が挙げられている。
- ・(上と関連して)生徒指導の方向性を全職員が共通認識のもとに実践していく必要がある。
- ・スクールカウンセラーには1学期たいへんお世話になった。2学期も、その時その時の必要性に応じて、型にはまら

V 道徳・総合的な学習の時間・特別活動

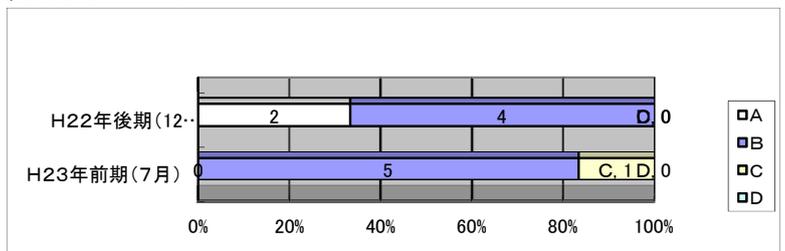
24 生徒は、道徳の授業で心から考えたり感じたりしている

		A	B	C	D
24	H22年後期(12月)	1	6	1	0
	H23年前期(7月)	1	4	1	0



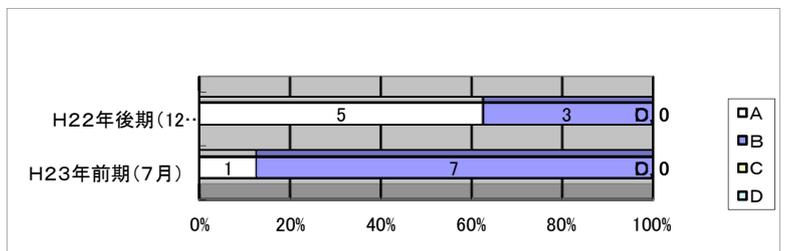
25 あなたは、生徒が意欲的に追究する総合的学習を展開している

		A	B	C	D
25	H22年後期(12月)	2	4	0	0
	H23年前期(7月)	0	5	1	0



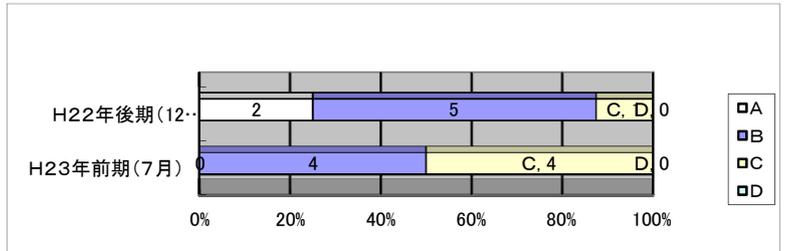
26 生徒は、部活動に向上心を持って取り組んでいる

		A	B	C	D
26	H22年後期(12月)	5	3	0	0
	H23年前期(7月)	1	7	0	0



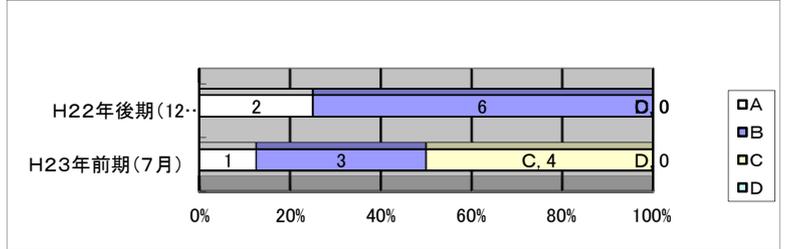
27 生徒は、合唱を文化活動の軸として意欲的に取り組んでいる

		A	B	C	D
27	H22年後期(12月)	2	5	1	0
	H23年前期(7月)	0	4	4	0



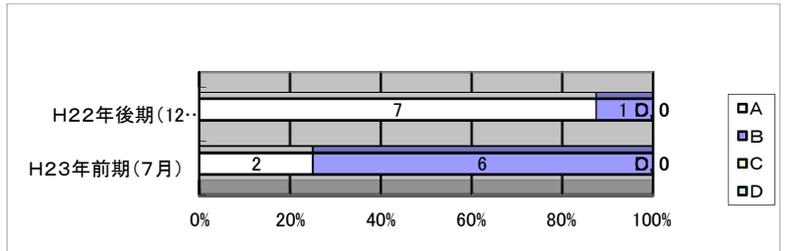
28 生徒会は、「日進月歩」のテーマの下、自立的な活動を展開している

		A	B	C	D
28	H22年後期(12月)	2	6	0	0
	H23年前期(7月)	1	3	4	0



29 修学旅行や登山等の行事は、生徒の人的な力を育てるものとなっている

		A	B	C	D
29	H22年後期(12月)	7	1	0	0
	H23年前期(7月)	2	6	0	0



【自由記述欄】

- ・登山中での生徒はとても素直でよかった。
- ・自主的に物事に取り組むという点や責任を持って取り組むという点で、課題があると思う。簡単なことでもいいので、自分たちがやったという成就感や達成感が図れる取り組みが必要。

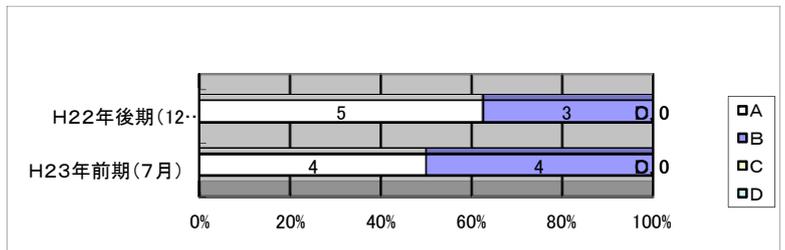
【まとめ】

- ・生徒が物事に意欲的に取り組むという点で課題がある。(生徒の自己評価も同様)
- ・教師の想いと生徒の意欲とが連動する有機的な教育活動に展開していく必要がある。

VI 保護者・地域・小学校との連携

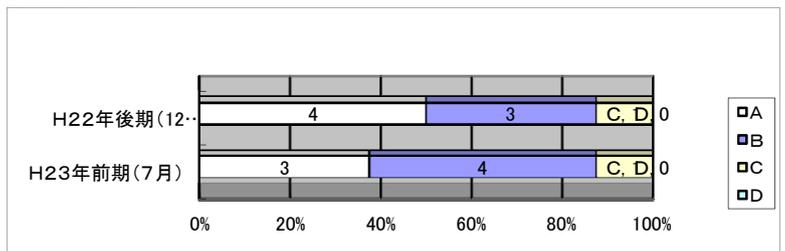
30 あなたは、保護者の情報や要望等を聞く努力をしている

		A	B	C	D
30	H22年後期(12月)	5	3	0	0
	H23年前期(7月)	4	4	0	0



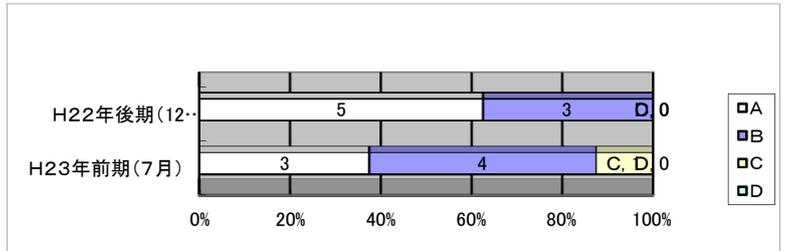
31 あなたは、教育方針や生徒の状況を保護者に発信している

		A	B	C	D
31	H22年後期(12月)	4	3	1	0
	H23年前期(7月)	3	4	1	0



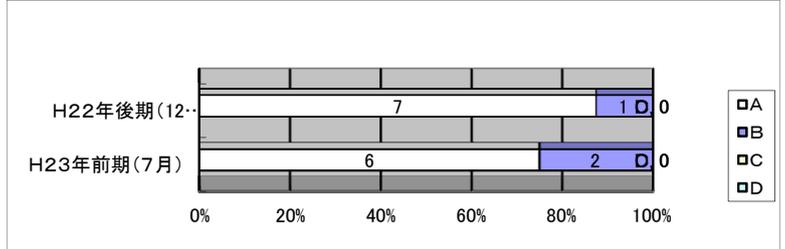
32 本校は、授業や活動が、保護者に開かれている

		A	B	C	D
32	H22年後期(12月)	5	3	0	0
	H23年前期(7月)	3	4	1	0



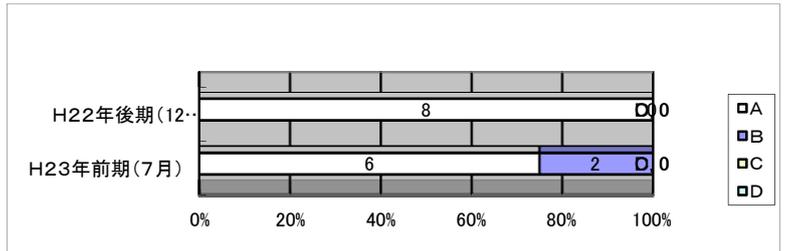
33 本校は、教育活動に地域の人材や施設を有効に活用している

		A	B	C	D
33	H22年後期(12月)	7	1	0	0
	H23年前期(7月)	6	2	0	0



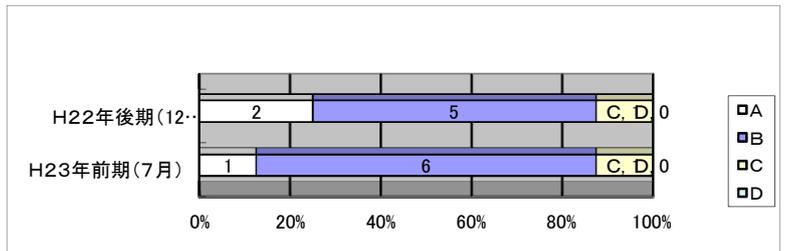
34 本校は、地域の行事・活動や組織と積極的に関わっている

		A	B	C	D
34	H22年後期(12月)	8	0	0	0
	H23年前期(7月)	6	2	0	0



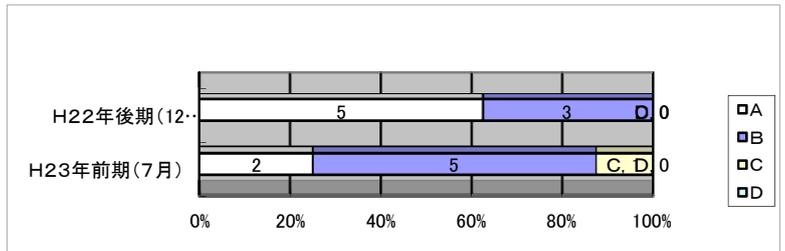
35 本校は、教育活動について小学校と連携している

		A	B	C	D
35	H22年後期(12月)	2	5	1	0
	H23年前期(7月)	1	6	1	0



36 本校は、学校評価を教育活動に活かしている

		A	B	C	D
36	H22年後期(12月)	5	3	0	0
	H23年前期(7月)	2	5	1	0



【自由記述欄】

- ・地域との係わりについては適切に行われており、これからも重視してほしいと考える。
- ・2年生の保護者との話し合いは効果があった。ことが大きくならぬうちに、保護者との情報共有、連携を図りたい。
- ・保護者や地域の方との交流が多いので、様々なところで学校へ協力をいただいている。

【まとめ】

- ・地域の人材活用についてはいろいろな場面で活用している。
- ・芦安地区の特色も踏まえる中で、地域や保護者との関係性の大きさについて、全職員が再確認し、「地域の学校」「地域と共につくる学校」という意識を新たにしたい。

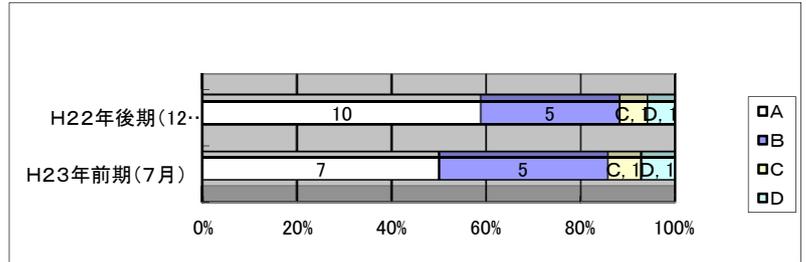
平成23年度 前期 芦安中学校学校評価アンケート（生徒） ※14名集計結果

I 学校生活全体

A	B	C	D
そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない

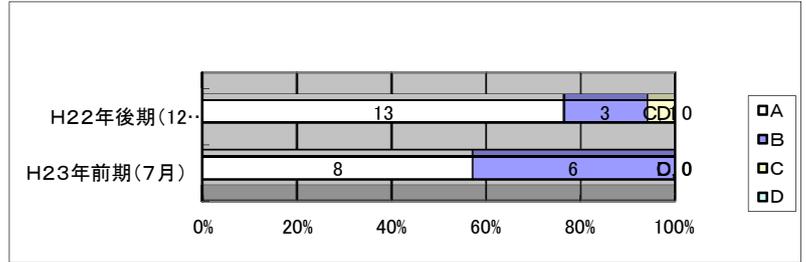
1 明るく楽しい学校生活を送っていますか

		A	B	C	D
1	H22年後期(12月)	10	5	1	1
	H23年前期(7月)	7	5	1	1



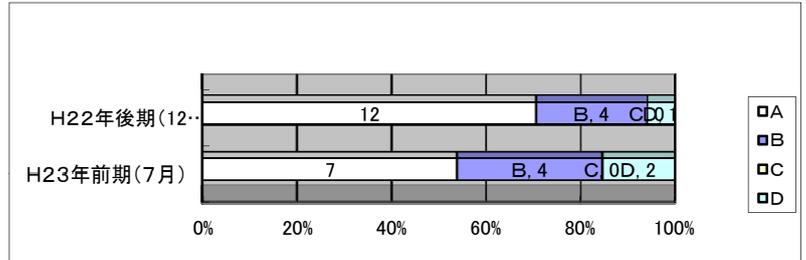
2 だれとでも気持ちよいあいさつをしていますか

		A	B	C	D
2	H22年後期(12月)	13	3	1	0
	H23年前期(7月)	8	6	0	0



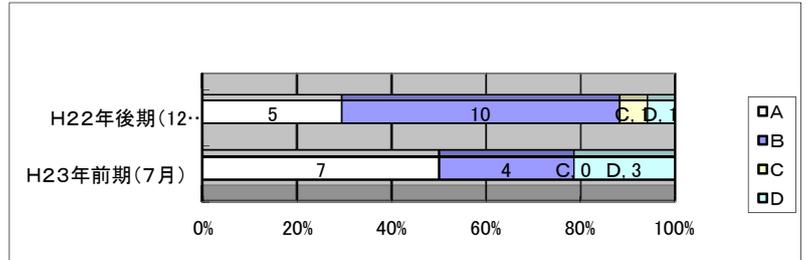
3 学年に仲良くしている友だちがいますか

		A	B	C	D
3	H22年後期(12月)	12	4	0	1
	H23年前期(7月)	7	4	0	2



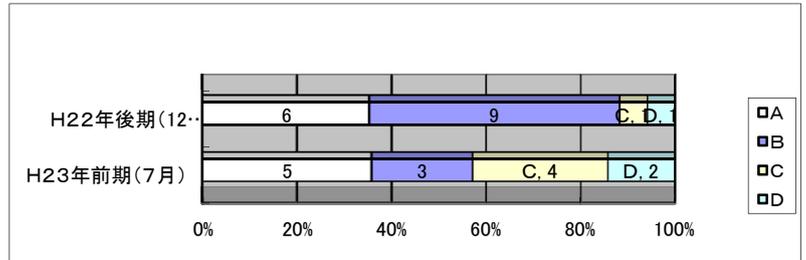
4 困った時に相談できる友だちがいますか

		A	B	C	D
4	H22年後期(12月)	5	10	1	1
	H23年前期(7月)	7	4	0	3



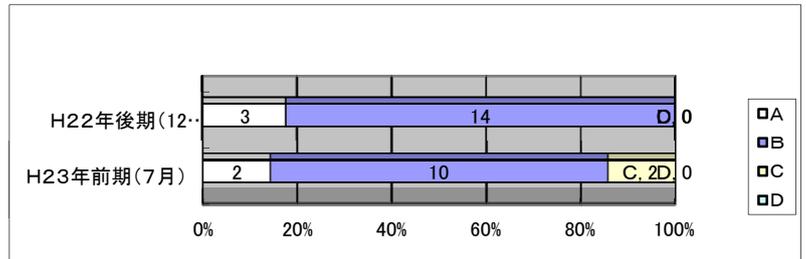
5 困った時に相談できる先生がいますか

		A	B	C	D
5	H22年後期(12月)	6	9	1	1
	H23年前期(7月)	5	3	4	2



6 場面に応じた適切な言葉づかいで生活していますか

		A	B	C	D
6	H22年後期(12月)	3	14	0	0
	H23年前期(7月)	2	10	2	0



〔自由記述欄〕

- ・まあまあの生活をしています。(好きでも嫌いでもない)①
- ・楽しいです。①
- ・だいじょうぶです。①
- ・困ったときに相談する先生はいます。何でも話せます。②
- ・学校は、楽しく友だちといつも過ごしているので特に問題はありません。②
- ・少しずつみんなと話せるようになったので、よかった。③

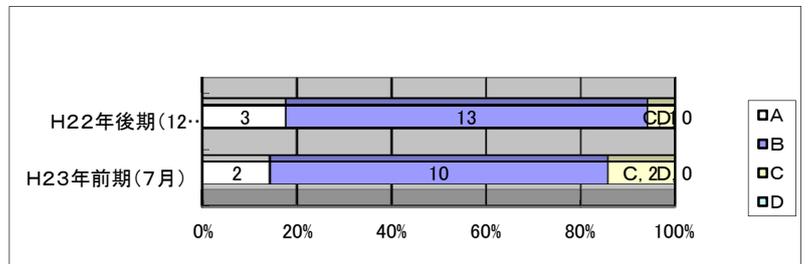
【まとめ】

- ・「仲のよい友だちがいる」「困ったときに相談できる友だち」がいない割合が増えている。
- ・「困った時に相談できる先生」について、D「いない」C「1人」の割合が増えている。
- ・生徒同士、生徒と教師の人間関係の構築を図っていくことが必要。

II 授業

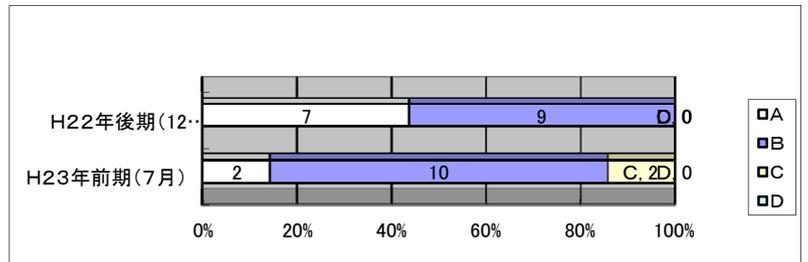
7 授業には、意欲的に取り組んでいますか

		A	B	C	D
7	H22年後期(12月)	3	13	1	0
	H23年前期(7月)	2	10	2	0



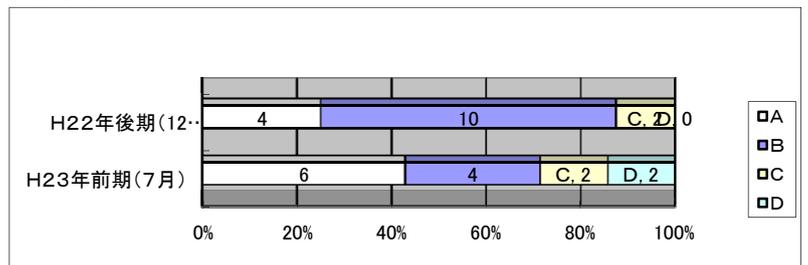
8 授業は、わかりやすいですか

		A	B	C	D
8	H22年後期(12月)	7	9	0	0
	H23年前期(7月)	2	10	2	0



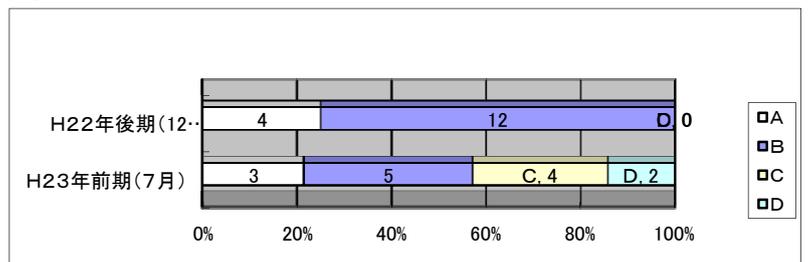
9 授業でわからないことがある時は先生に聞いていますか

		A	B	C	D
9	H22年後期(12月)	4	10	2	0
	H23年前期(7月)	6	4	2	2



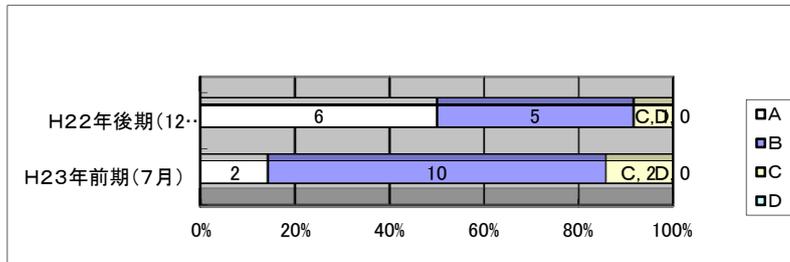
10 授業では、友だちと学び合う学習活動をしていますか

		A	B	C	D
10	H22年後期(12月)	4	12	0	0
	H23年前期(7月)	3	5	4	2



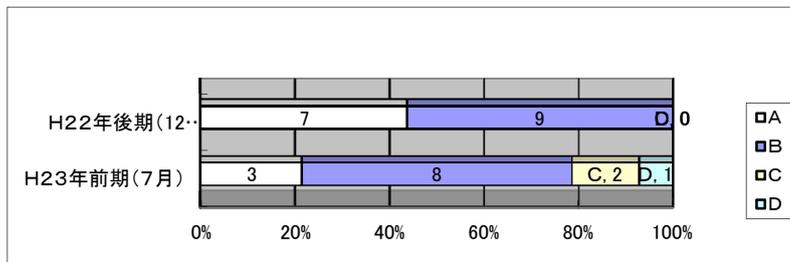
11 道徳の授業では、心から考えたり感じたりしていますか

		A	B	C	D
11	H22年後期(12月)	6	5	1	0
	H23年前期(7月)	2	10	2	0



12 総合的な学習では、自ら意欲的に追究していますか

		A	B	C	D
12	H22年後期(12月)	7	9	0	0
	H23年前期(7月)	3	8	2	1



〔自由記述欄〕

- ・授業はだいたい理解しています。①
- ・わかりやすいです。①
- ・人との関係をもっと多くしたい。①
- ・ここはBがほとんどなので、もっとAを増やしたい。②
- ・授業はがんばっていますが、勉強自身はあまり好きではありません。②
- ・授業には出てないけど、相談室に来てくれる先生の授業はわかりやすい。③

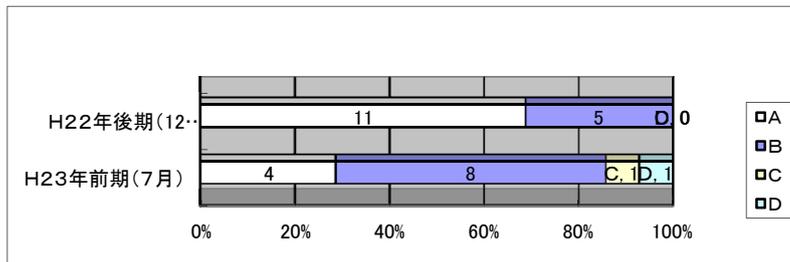
【まとめ】

- ・「わからないところを聞いたり、友だちと学び合ったり学習活動」が、昨年度に比較して減少している傾向にある。
- ・「心から考えたり感じたりする道徳の授業」及び「意欲的に追究する総合的な学習」が課題として挙げられている。
- ・2学期に校内研究において授業研究も含め取り組んでいく部分であるが、現状と改善策について方向性を持ちた

Ⅲ 諸活動

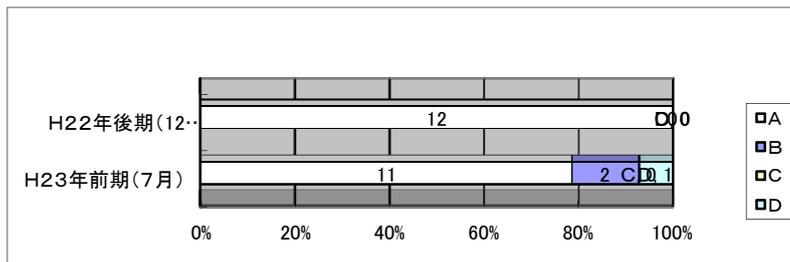
13 清掃活動や給食準備には、意欲的に取り組んでいますか

		A	B	C	D
13	H22年後期(12月)	11	5	0	0
	H23年前期(7月)	4	8	1	1



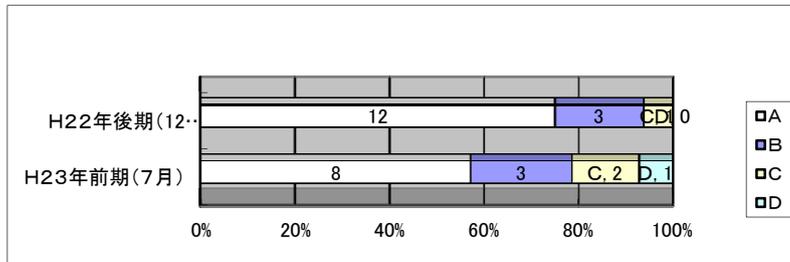
14 バドミントンには、意欲的に取り組んでいますか

		A	B	C	D
14	H22年後期(12月)	12	0	0	0
	H23年前期(7月)	11	2	0	1



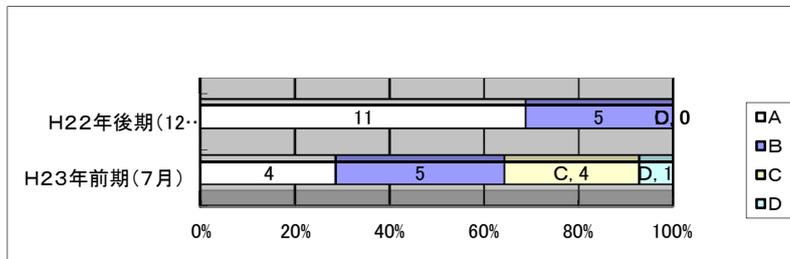
15 太鼓には、意欲的に取り組んでいますか

		A	B	C	D
15	H22年後期(12月)	12	3	1	0
	H23年前期(7月)	8	3	2	1



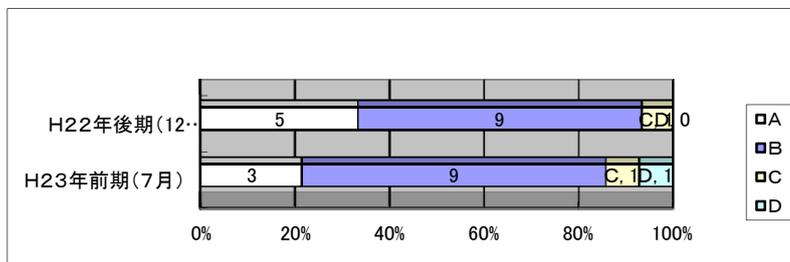
16 合唱活動には、意欲的に取り組んでいますか

		A	B	C	D
16	H22年後期(12月)	11	5	0	0
	H23年前期(7月)	4	5	4	1



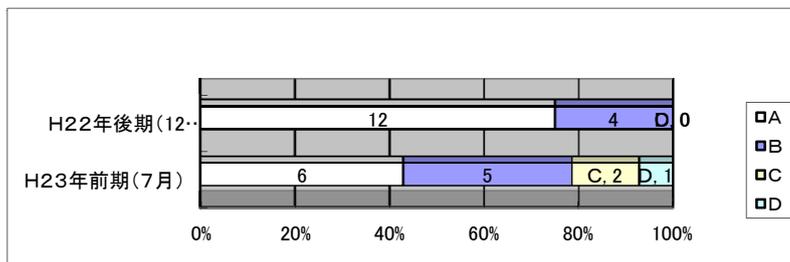
17 生徒会活動には「日進月歩」をテーマに進んで参加していますか

		A	B	C	D
17	H22年後期(12月)	5	9	1	0
	H23年前期(7月)	3	9	1	1



18 学校行事(登山・白峰祭等)には意欲的に取り組みましたか

		A	B	C	D
18	H22年後期(12月)	12	4	0	0
	H23年前期(7月)	6	5	2	1



〔自由記述欄〕

- ・太鼓が打てないので、あまり意欲的でない。①
- ・楽しいです。①
- ・だいじょうぶです。①
- ・ここはすべてAでよいと思う。②
- ・部活等に力を注いでいるつもりですが、疲れてやる気が下がってしまうときも…。②
- ・まだ、みんなと話しづらいので、取り組むことができませんでした。③

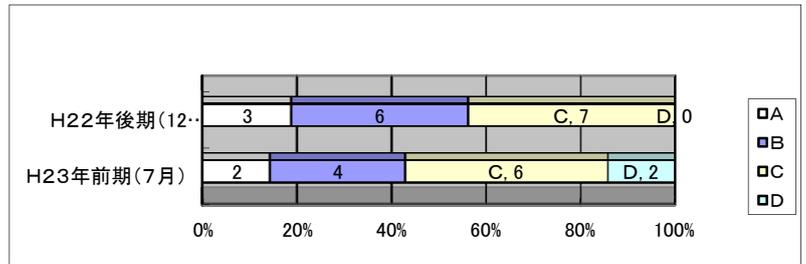
【まとめ】

・清掃活動、合唱、生徒会活動など生徒たちが主体的に取り組んでほしい活動に対して、全体的に活動意欲が低下しているように思われる。

#### IV 家庭生活

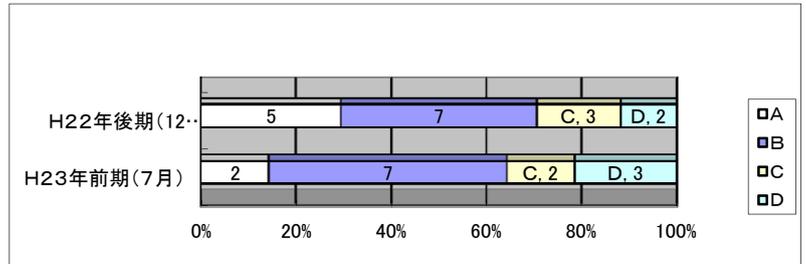
19 宿題を忘れずにしていますか

		A	B	C	D
19	H22年後期(12月)	3	6	7	0
	H23年前期(7月)	2	4	6	2



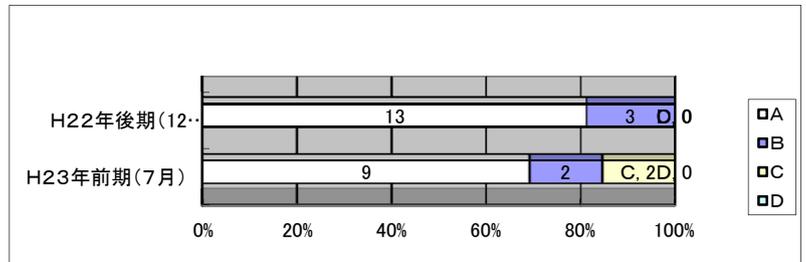
20 宿題の他にも家庭学習(塾を除く)をしていますか

		A	B	C	D
20	H22年後期(12月)	5	7	3	2
	H23年前期(7月)	2	7	2	3



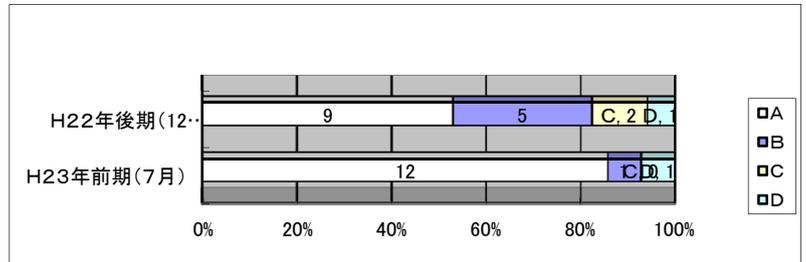
21 朝ごはんを食べて登校していますか

		A	B	C	D
21	H22年後期(12月)	13	3	0	0
	H23年前期(7月)	9	2	2	0



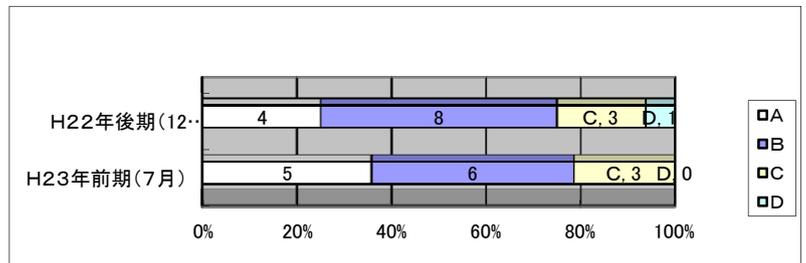
22 食事は家族そろって食べていますか

		A	B	C	D
22	H22年後期(12月)	9	5	2	1
	H23年前期(7月)	12	1	0	1



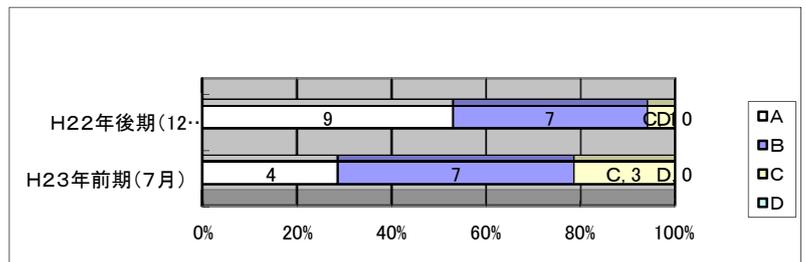
23 学校での様子を家族と話していますか

		A	B	C	D
23	H22年後期(12月)	4	8	3	1
	H23年前期(7月)	5	6	3	0



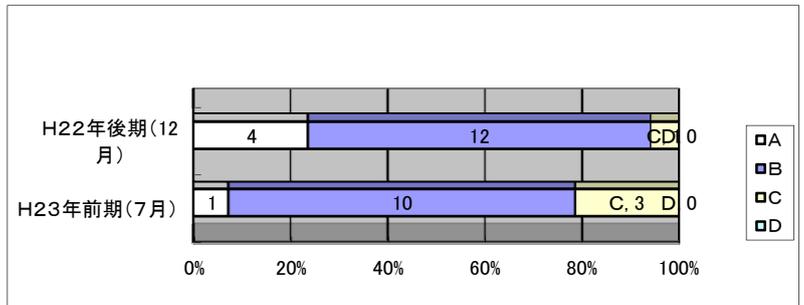
24 学校からの便りや通知を保護者に渡していますか

		A	B	C	D
24	H22年後期(12月)	9	7	1	0
	H23年前期(7月)	4	7	3	0



25 平均睡眠時間はどれぐらいですか(月～金曜日)

25		A	B	C	D
	睡眠時間	6時間以下	約7時間	約8時間	9時間以上
	H22年後期(12月)	4	12	1	0
	H23年前期(7月)	1	10	3	0



〔自由記述欄〕

- ・まあまあの生活をしています。①
- ・がんばりたいです。①
- ・宿題を忘れないようにする。①
- ・次から学校の通知をしっかり渡すようにしたい。②
- ・普通に学校のことはお家の人に話したり、便りを渡したりしています。②
- ・家に帰ったら、少しは勉強してます。③

【まとめ】

- ・宿題への取り組みについては、D(よく忘れる)、C(時々忘れる)評価が8名と大きな課題となっている。
- ・同様に家庭学習の実態にも課題を感じる。
- ・家庭との連携を大切に継続的に取り組んでいく必要がある。

※○囲みの数字は学年

# 芦安中学校（前期）自己評価書

平成23年8月31日  
南アルプス市立芦安中学校  
校長 興水 哲男

## 1 前期自己評価の経過

- (1) 前期教職員対象アンケート及び生徒対象アンケートの実施（7月）
- (2) アンケート結果の考察を基に職員会議にて改善方策の審議（8月23日）

## 2 学校評価の分析と改善方策

### (1) 教育目標

①学校教育目標から出発した教育活動の展開、意識化については概ね良好な状況にあり、学校教育目標具現化に向け、学校経営方針を理解し教育活動を行っている。

特に、具体目標の中では「意欲的に学習に取り組み、最後までやり抜く生徒」「郷土を愛し、自然に親しむとともに勤労を尊ぶ生徒」について高い意識化が図れている。後者については、全校北岳登山に向けての取り組みの中で、郷土に対する愛着を育む学習を重視、展開してきたことが、反映していると思われる。

②「意欲的に学習に取り組む生徒」「正しく判断し、自主的に行動できる生徒」「人を思いやり、尊敬するとともに協力性に富む生徒」については、教師や生徒のアンケートから、成果としてまだ十分でないと思われる。2学期以降、継続しての課題となるが、これらの目標を念頭に、授業、諸活動を含めた学校教育活動の中で組織的・継続的に取り組んでいきたい。

### (2) 学校運営

①「校務分掌」については、どの職員も多くの仕事を抱えている状況にあるが、一人で複数の仕事を責任持って遂行するに当たり、日常的に関係職員と密に相談することを心がけ、協働による体制をさらに強めていくことを心がけていきたい。また、学校現場の職務内容を考えると分掌を平均化することは難しいが、学年体制で補える部分、職員全体でバックアップできる内容等、状況に応じて複数職員で対応できるような協働体制をさらに強めていかなければならない。

②校内研究については、校内研究が日々の授業に活かされていないと思う職員が半数であった。1学期は、研究テーマの設定、方向性、理論学習など基礎研究が中心であったことが考えられるが、生徒の実態と学び合いを結び付けることは難しいという意見もあった。2学期以降は、授業研究が中心となるので、子どもたちの実態を踏まえながら、学び合いを高める実践的な校内研究となるよう努力していきたい。

③「報告・連絡・相談」の状況は良好で、開かれた風通しの良い職場となっている。職員室が、授業や生活における生徒の情報や指導方針を共有できる場として、今後も機能させていきたい。

### (3) 学習指導

①「個に配慮した授業」について教職員の意識が高い。少人数の特性を活かした授業のあり方を模索していくことも含め、今後とも大切にしていきたいところである。

②「生徒が主体的に学ぶ課題解決的な学習」「学び合う授業」が、課題として浮かび上がってきた。生徒の実態を考えると基礎学力を定着させるためのドリル的な学習に時間をかけざるを得ない状況もある。校内研究の授業研究で意欲化・学び合い・課題解決学習について研究を深め、楽しい授業、わかる授業をめざし、個に応じた指導（繰り返し指導、補充的な学習等）や体験的な学習（作業、実習、創作、実験）の充実を図っていきたい。また、人の話を聞く、ノート整理の仕方、学習用具や宿題を忘れないなどの基本的な学習規律も徹底していきたい。

③教師のアンケートの中で基礎学力の向上も課題として挙げられた。まなびの時・放課後の補習の充実や保護者と連携し家庭学習の習慣化を図っていきたい。

#### (4) 生徒指導

①生徒アンケートの結果から、「仲のよい友だちがいる」「困った時に相談できる友だち」「困った時に相談できる教師」がない割合が増えており、「教師と生徒」「生徒同士」の関係づくりが課題となっている。生徒の話をよく聞き、どの子も「かけがいのない大切な存在」という気持ちが伝わるように心に寄り添った指導をしていき信頼を厚くしていきたい。また、お互いを認め合い、相手の気持ちを考えて発言したり行動したりできるよう普段の生活の中で指導していきたい。

②「気持ちのよいあいさつ」「生徒の言葉づかい」が教職員の課題として指摘されている。(生徒の評価とは逆の結果となっている。) その場、その場で根気強く指導し自覚を持たせていきたい。

③生徒指導に関しては、生徒の情報交換と指導方針を共有し合い、いいところは褒め、「だめなもののはだめ」「問題ある言動は必ず指導する」ことを確認し、全職員で同じ歩調で対応していく。

#### (5) 学校生活全般(行事・部活動・生徒会活動・・・)

①全校北岳登山では、地域の多くの支援者の協力の下、生徒たちは苦楽を共にする活動の中で仲間意識を強め、達成感を得ることができた。「登らされている登山」でなく、主体的に登山に臨み、自らの感性による気づきや学び、そして、思いを持ち帰って来られるような取り組みを今後も考えていきたい。

②バドミントン部活動では、意欲的に取り組んできたという評価をする生徒が多い。学校生活の中でも大きな比重を占める部活動の指導では、子どもたちの意欲を向上させ主体的な練習を喚起していきたい。また、全校生徒指導の場であることを念頭に、一人ひとりの成長や心身の実態を把握する中で、向上心を持続できる活動を続けていきたい。

③夜叉神太鼓では、上級生が1年生に指導する場面も見られ、5月の芦安新緑・やまぶき祭で2・3年生は保存会の皆さんと共演した。しかし、あまり意欲的でない評価をした生徒もいるので、個々の技術や能力の向上をめざした取り組みと共に、みんなで演奏する楽しさを共有できる指導をしていきたい。

④教師アンケートでは、生徒会活動や合唱活動(生徒アンケートも同様)で、生徒が意欲的・主体的に取り組む点でC評価が多い。白峰祭や交流音楽祭では、自分たちの思いを持って主体的に取り組めるように、指導していきたい。学校生活の中でも、生徒の「主体性・自主性」は課題となっている。学習や諸活動の中で、できる範囲の中で生徒が選択し決定する活動をできるだけ取り入れていき、認める・褒める活動を意識的に行っていき、自己肯定感が持てるようにしたい。

#### (6) 家庭・地域との連携および小中の連携強化

①地域の人材活用については高い評価となり、大きな成果としてとらえられている。これは、ふれあい道徳授業、全校北岳登山に向けての事前学習や登山支援で、地域の支援者に有意義な指導をしていただいたことが評価された結果となっている。生徒にとって郷土に対する新たな視点や思いを持つことができる大きなきっかけとなった。また、いきいき教育地域人材活用推進事業を通して、陶芸教室や合唱の指導をしていただいている。今後も地域の人材を活用し、芦安中の特色ある教育活動を行っていきたい。

②宿題を含め、家庭学習の実態は大きな課題である。家庭における学習習慣を確立することは、生徒の学力向上に必要不可欠である。そのために、生活記録ノートを活用し、保護者と担任のチェックや必要に応じてコメントを記入するなど、家庭と連携して取り組んでいきたい。宿題をやってこない生徒には、放課後残してやる、部活の時間に宿題をさせるなど、宿題をするのが当たり前を実践していく。宿題以外の学習についても取り組むことができるように粘り強く指導にあたっていきたい。家庭学習に限らず、何か問題があるときは、すばやく対応し、学校と保護者との連携を密にしていきたい。

③小学校との連携については、両校代表者による小中連携推進会議のみでなく、全ての教職員が日常的に柔らかな交流を進めていくことによって、小中間の学校文化や意識の溝を埋めていくことをめざしていきたい。1学期の中学校の授業研究に小学校が参加したように、お互いの授業研究へ参加したり、小学校で中学校教師が授業をしたり、教職員同士の交流や意見交換(学習規律、家庭学習、生活指導等)ができる機会を増やしていきたい。